

【多発性骨髄腫】

レジメン名称 : DLd 皮下(1~2サイクル)

インターバル日数 : 28 日

催吐性リスク : 軽度

基準日: day1

使用する抗がん剤:

Rp	手技	薬剤名称	標準値	上限値	投与	ルート	組織侵襲性
1	皮下注	ダラキューロ配合皮下注	1800mg/body	-	day1、8、15、22	-	非炎症性
3	内服	レナデックス錠4mg	20mg/body	-	day1、2 day8、9 day15、16 day22、23	-	-
4	内服	レブラミド錠5mg	25mg/body	-	day1~21	-	-

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1		day8		day15		day22	
1	皮下注	ダラキューロ配合皮下注 翼状針使用のため15.5mlで調製 皮下投与	1800mg/bod	投与順1		投与順1		投与順1		投与順1	

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day2	day8	day9	day15	day16	day22	day23	
1	内服	アセトアミノフェン錠500mg	1000mg	1000mg		1000mg		1000mg		1000mg		
2	内服	ポララミン錠2mg	2mg	2mg		2mg		2mg		2mg		
3	内服	レナデックス錠4mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	
4	内服	レブラミド錠5mg	25mg	day1~21								

★ 前処置(アセトアミノフェン、ポララミン、レナデックス)はダラキューロの投与1時間以上前に投与終了

★ 輸血時の間接クームス試験に影響あり